

9 番 大 野

受付番号3号、質問議員9番、大野徹也。

件名「国道246号線の交通渋滞解消に向けた対策は」。

山北町の新たな玄関口として、開設が待たれる新東名高速道路の（仮称）山北スマートインターチェンジは、本線の高松トンネル整備工事の難航から再び開通時期が令和9年度になるとの新たな見通しが中日本高速道路と当町の連名で発表された。

観光立町を標榜する本町の今後の活性化を左右する重要事業として、観光拠点の丹沢湖や中川温泉、さらに西丹沢登山、県西地域活性化プロジェクトで地域オンリーワンの魅力を生かした観光スポットとして再整備した「洒水の滝」と近隣の河村城址の誘客推進、また交通環境の改善による物流面の優位性での企業誘致や定住・移住促進には一刻も早い完成が待たれるところではある。

しかし、その間にも国道246号線の渋滞問題による交通面、物流面での問題や地域住民の生活への影響が懸念されていると考え、その対策を質問する。

1. 国道246号線の宮地信号機における岸地区からの交通渋滞の対策として、松田警察署へ信号機システムの3点通行の改善を要請しては。

2. 国道246号線の樋口橋信号機の交通渋滞において、神奈川県警交通管制センターの新交通管理システム「UTMS」での信号制御による交通緩和は可能なのか。

3. 清水橋信号機における国道246号上下線の交通渋滞と、県道76号線スマートIC方面からの交通渋滞への対策は。

以上。

議 長 答弁願います。

町長。

町 長 それでは、大野徹也議員から「国道246号線の交通渋滞解消に向けた対策は」についての御質問をいただきました。

初めに1点目の御質問の「国道246号線の宮地信号機における岸地区からの交通渋滞の対策として、松田警察署へ信号機システムの3点通行の改善を要請しては」についてであります。宮地交差点につきましては、過去には、国道と県道が交互に相互通行となる2段階式の信号サイクルであったものが、

危険事案の発生や地元の要望により検討されたものと認識しております。

平成26年4月に改善策として、信号サイクルを現在の3段階式に変更、その後車両感知センサー導入による信号制御、令和4年度には通行・停止時間の調整などを経て、現在のサイクルとなっております。

松田警察署では、現在の状況がこれまでに比べて良好であるとの判断により、変更する予定はないとのことですが、地元自治会からも同様の要望が出ておりますので、少しでも改善が図れるよう今後も協議してまいります。

次に、2点目の御質問の「国道246号線の樋口橋信号機の交通渋滞において、神奈川県警交通管制センターの新交通管理システム『UTMS』での信号制御による交通緩和は可能なのか」についてであります。UTMSとは、車両感知器や監視カメラ、光ビーコンなどあらゆる媒体から情報を収集し、解析した情報を他の機関やシステムに提供したり信号を制御したりするシステムであります。神奈川県内では、UTMSにより信号を制御し交通の管掌を行っている箇所は、横浜みなとみらい地区のみであると聞いており、国道246号線等への設置は難しいものと考えております。

次に、3点目の御質問の「清水橋信号機における国道246号上下線の交通渋滞と、県道76号線スマートIC方面からの交通渋滞への対策は」についてであります。清水橋交差点では、宮地交差点と同様、車両感知センサーによる信号制御により、交通渋滞を緩和しておりますが、交通渋滞をさらに緩和するため、国道の改良を国に要望しましたが、現段階での改良は難しいとの回答でありました。

今後、スマートICが開通し通行車両が増加することにより、今以上に交通渋滞が発生することが危惧されますが、開通後の交通渋滞対策について、国及び県に要望し、いずれも開通後の交通量の状況等により御検討いただける旨の回答はいただいておりますので、今後も交通渋滞の状況を注視し、必要に応じて関係機関との調整を図ってまいりたいと考えております。

議 長 9番、大野徹也議員。

9 番 大 野 国道246号線の交通渋滞が最近も頻繁に発生しております。東名大井松田御殿場間の下り線右ルートのリニューアル工事の影響による交通渋滞や、さらには左ルートの交通事故等による全面通行止めなどの際には宮地交差点か

ら始まる下り線の交通渋滞は籠場インターを越えまして、渋沢方面や大井松田インター出口まで大渋滞となります。そうすると、岸地区からの渋滞や樋口橋から始まる平山地区や山北町内の渋滞により、地域住民への生活の影響が懸念されております。

そこで、まず宮地交差点の渋滞対策ということで、地元自治会からの要望というふうな内容で、これは岸地区の座談会で触れられたことかと思いますが、この座談会の中で、町長のほうで御発言がありましたが、信号機システムの改善要請というものをしなければいけないというふうな御回答というか、お答えがありまして、3点時差式の運用の改善というのは、いわゆる3点式を従来の2点式に何とか戻せないかというふうな運用の方法かと思います。

そのような形で松田署に働きかけていただいているかと思うんですが、それは座談会が終了後に、またそのような働きかけをしていただいたんでしょうか。

議 長 町長。

町 長 宮地交差点の信号のは2段階から3段階のときは、ちょうど10年ぐらい前ですか、私が町長になって松田警察署の署長が来られて、3代前か4代前の要望で今できましたということで。それからいろいろ多少変更をしながらやってきた経過がございます。ですから、いろいろな面で、そのとき一番言われてたのが、トラックが宮地のところで右折したいんだけど右折できないと、つまり役場の方面から真っすぐ行く車があるために右折ができない。御殿場方面には左折できるんだけど、右折ができないんで何とかしてほしいというのが一番大きな理由だったというふうに記憶しております。

ですから、根本的に3段階方式をやめるというのはなかなか難しいと思いますけど、今後アサヒビールさんが撤退というようなことを聞いておりますんで、トラックの数が減ったときにそういったような時間の変更であるとか、どうしても2段階がそのときにということになれば、またそういう要望をしていこうというふうに思いますけど、今の段階では3段階から2段階というのは、なかなか決裁が松田警察署にどうもないみたいなんで、上のほうにいつてしまって下に降りてくるという段階らしいんで、なかなか難しいというふうに考えております。

議 長 大野徹也議員。

9 番 大 野 3点式からまた2点式というのも、確かにそれなりの理由というふうなものがないと、まして現在の交通渋滞の状況を見ますとさらに悪化するというふうな方向になってしまうかとは思いますが。

ただ、今、町長の御答弁で、アサヒビールの事業撤退、これは1月に撤退をされてるかと思うんですが、そういった形で輸送トラックがなくなったということで、その辺は渋滞緩和の一つの効果にはなるのかなと思っておりますが、ただ、ちょっとここで聞いた話で、その室生さんのほうに行く、いわゆるショートカット的な道路がいつからかは分かりませんが、7時から9時までの時間帯、いわゆる子どもの通学時間とかというのに合わせてだと思えますけども、そこが通行止めというか。そうですね、通行止めですね。ということですので、ますます宮地の信号のほうが混んでしまうのではないかなと思われませんが、その辺についてはいかがでしょうか。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、学校の通学時間については、なるべく岸のほうから来て左折なりができないということをあれしておりますけど、逆に言えば、どうしてもというときに右折して、下の怒杭のほうに出ていくというような手もあるんじゃないかなというふうに思いますんで、そういったことを今あそこの道路、一つは真っすぐにしましたけど、もう一本がこれから改修を若干する予定でございますので。そういった中で。ただ、右に右折したら右折したで、また地元の方が通んないでくれというようなことを言うんじゃないかというふうには思いますけども、いずれにしてもショートカットができるかどうか都市整備課とも協議しながら検討してまいりたいというふうに思っております。

議 長 大野徹也議員。

9 番 大 野 そうですね。やっぱり地元の方の御意見というのが最優先ということになるろうかと思えます。そういうことで、やはり渋滞の問題につきましては、今後もずっと続くのかなということで、そんな中でアサヒビールの輸送トラックはなくなりましたということなんですが、私が見る限り、現在も大型の輸送トラックが宮地の信号右折左折という両方向に通行しておりますが、この

辺の状況については山北町内の企業が使われているということでしょうか。

議 長 都市整備課長。

都市整備課長 町内の企業さん、主に原耕地地区に集中しておりますけども、そちらの企業さんで大体1日の大型車、積載重量10トンなんで、車重からすると20トンから25トンになるかと思えますけども、4社、三菱ガスさんも入れて、およそ1日に200台に満たないぐらいで180台ぐらいかと思えます。

議 長 大野徹也議員。

9 番 大 野 1日180台ということは、かなりの台数がそこを通過して国道246号線のほうを両側に通行してると。やはり多分地元企業の方々も、その辺はちょっと御苦労されてるのかなというふうな思いがあります。

そうしますと、今おっしゃられた岸地区の原耕地あたりの各企業ということでございますが、先ほど和田議員の質問の中の東山北1000まちづくりの計画道路のことで、これは酒匂川左岸道路の名称で道路整備を進めようとしているかと思えますけども、その辺の進展についてはいかがでしょうか。

議 長 都市整備課長。

都市整備課長 酒匂川の左岸道路って今で言う町道の茱萸ノ木松原先線のことかと思えますけども、先日、県西土木の河川一課のほう行きまして、ずっと河川協議のほうで滞っておったんですけども、一応うちのほうでも書類ほぼほぼできましたので、今、県が本庁の協議になりますので、本庁との日程調整を、今、県の内部で調整していただいている段階で、今、返事待ちのような状況でございます。

何としても3月中には一度本庁のほうには伺って、向こうの担当者も何人か変わられてますので、またちょっと御説明のほうをさせていただければなと思っております。

議 長 大野徹也議員。

9 番 大 野 そういうことで進展は見られるということだと思います。

ただ、その道路が実際に利用するという形になったときに、大型の輸送トラックがそこを通行できるかというふうな問題もあろうかと思うんですが、その辺につきましてはいかがでしょう。

議 長 都市整備課長。

都市整備課長 基本的には、茱萸ノ木松原先線に関しましては、大型車の通行は御遠慮願うような形で、松田町さんと最終的にはつながる予定でおりますけども、松田町さんの考えも大型車通行させないよというようなお話を以前に伺っております。

議長 長 大野徹也議員。

9 番 大 野 そうしますと、専ら大型車以下の車が通行できると。それはそれで松田町との連携みたいな話の中でいろいろこれからもあろうかと思えますけど、そういった際には大変有効な道路ではないかなというふうに思えますので、早期にその計画が進むことをお願いをするというふうなことになるかと思えます。

ただ、そうなりますと、今後も岸方面から国道246号線に大型の輸送トラックが通行するわけですけども、町長は国道246号線の渋滞問題は、これは道路の管理責任者である国、国交省ですか、そちらのほうに働きかけをなさるといことですが、どのような働きかけというふうなことで理解をしたらよろしいのか。また、その辺の働きかけが、例えば246号線ですから、秦野市とか松田町この辺との連携みたいなものがあるのかどうかを伺います。

議長 長 町長。

町 長 なかなか大型トラックに関しては、なかなか例えばこっち宮地のほうへ来ないであっちへ回ってくれとか、そういうのはできる場合とできない場合とかなりあるというふうに思いますし、どうしても今の段階ですと、山北町にある工場がどうしても180台ぐらいですか、宮地を通っていくというのは、まあなかなか難しい。今現在、県のほうにお願いしてるのは、南原のところ、カーブのところ擦れ違いが難しいということで、そここのところの改修をお願いしてるわけですけども、仮にアサヒビールも撤退は決まりましたけど、その後に来る企業が分かりませんので、また大型車を使う企業かもしれないので、そういった意味では、いろいろな情報を注視しながら、そのケース・バイ・ケースについて、松田町さんあたりと協議しながら、よりよい方法を考えていきたいというふうに思っております。

議長 長 大野徹也議員。

9 番 大 野 松田町さんと協働しながら、私のほうで以前町長のほうが、国道246号線の

渋滞問題、これの解決はいわゆる4車線化、この辺のところはネックになってくるというふうなお話を聞いたものですから、その辺の4車線化に向けての働きかけをなさってるということで理解をしてたんですが、それはそれで今現在も働きかけをしていただいているということによろしいでしょうか。

議 長 町長。

町 長 松田町さんとは、本当に左岸の道路については、当初松田町さんから言われたのは、山北町が先行してるんで、うちは遅れちゃいけないというんで、やっと計画のほうに載せさせていただきましたということを知っているんで、何とか協力しながら交通渋滞の緩和に資するような道路にしていければいいなというふうに思ってますんで。松田とは常に連携しておりますし、情報も常にいただいていますんで、何とかその道路、交通渋滞については緩和していきたいというふうに考えております。

議 長 大野徹也議員。

9 番 大 野 国道246号線の4車線化というふうな部分についても取り組んでいただいているかと思えます。ただ、国交省は高速道路の料金徴収期限を2065年からさらに50年延長して2115年まで延長したと。高速道路の老朽化対策や地方部の高速道路の4車線化、こちらの費用を確保するための法案を今国会に提出しております。

高速道路の無料化は、そういうわけでさらに遠のいたと、半永久的な徴収というふうな形に転換を図っております。

一方では、電気自動車の普及を見据えた新たな課税の在り方を検討し、道路財源の拡充を図ろうとしておりますが、現況のガソリン車を前提とした現行税制での一般国道の4車線化、こちらに必要な財源の捻出というものは、非常に厳しいかと思えますが、町長の御見解はいかがでしょう。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、まず瀬戸バイパスも4車線化というのは、これから国のほうに要望していかなければいけないというふうに思ってますし、そのところがどういうふうになるか、そしてその予算についても様々な考え方がございますけど、今、大野議員がおっしゃったような、道路財源というふうな考えもありますけども。しかし私が国交省さんのほうと話してる大体雰囲気

気ですと、やはり三つ必要だと。つまりいろんなところがみんな要望してくると。いつも二つはあると。交通渋滞、それから観光面とかあるいは防災面というのはあるけど、結局二つだと。どうしても三つないと予算がつきづらいうというふうに伺ってますんで。今現在、そういった意味では交通渋滞はもう間違いないわけですからそういったような面と、そういったような中で、やはり全国から国交省に予算については上がってきますので、みんな大体二つしかない、ですから三つ必要だというようなことを伺ってますんで、単なる防災とか観光、あるいは交通渋滞というだけじゃなくて、もう一つそれに教育であるとか、あるいは福祉であるとか、何かそういったようなものについて、そして要望していくというような考えになるんじゃないかというふうに思いますんで、道路財源が豊富にあるからやっていただけるとかそういうことにはならないというふうに聞いてますんで、やはり今、山北のこの現状を見ますと、日本でも例を見ないくらい高速道路がこれだけ通ってる。スマートインターがやっとできて、そういうような中でやはり一番困ってるということを伝えておりますので、実際に一番最初に国交省さんにそのとき石井大臣でしたけど、困ってると言ったら、じゃあと言って旧東名を使った土砂の運送を決定していただいたというような事案もございます。そういった意味では、やはり地域住民が困ってること、そして、またそれを何とか解消する方法を一緒になって考えていかなければいけないというふうに思ってますんで、私のほうとしては、まず本分としては瀬戸バイパスが暫定2車線を4車線にして、まず交通渋滞を何とか緩和できないかというふうに考えるのがまず王道ではないのかというふうに考えてます。

議 長

大野徹也議員。

9 番 大 野

いろいろ御苦勞されてる中で、その理由づけ、その辺の部分が三つあるということで、そこに合致するかどうか非常に難しい部分もあるというそういうお話かと思います。

そうしますと、国道246号線の4車線化というものは時間を要するということは現時点でもうかがえるのかなというふうに思っております。

そうしますと、現時点で宮地交差点の渋滞を少しでも緩和させるためには、どうしても信号機システムに頼らざるを得ないのが現状かと思っておりますので、

その辺の改善要望を事あるごとに引き続き松田署のほうに訴えていただいて、何とか改善を図っていただきたいというふうに思います。

次に、樋口橋の信号機の信号制御による交通緩和は可能なのかでございますが、神奈川県警交通管制センターの新交通管理システムUTMSの信号制御は、町長御答弁のとおり、残念ながら大都会横浜、そちらのほうのみなどみらい地区に限られたところの運用というふうなことでございまして、内容的には、高度情報通信技術を駆使して管制センターから直接交通渋滞を解消させたり、路線バスや緊急車両をスムーズに運行させるためのシステムということで、その他の市町、市町村、政令指定都市の秦野市も川崎も含めて運用されてないと。残念なことなんですけども、そういうことで、その信号システムは専ら主道路側の交通量が多ければ、そちらの青信号が長くて、従道路のほうはほとんど感知式というものになっているということで、車を検知しなければ、例えば国道246号線の主道路側は青信号のままということですが、そんなことはこの辺の道路にございませんで、なかなかその辺が解決が図れないと。信号システムですと。先ほど宮地交差点でも触れましたように、樋口橋交差点でも平山地区と山北町内からの渋滞が発生しておりますけれども、現状、246号線が渋滞してる時、平山地区と山北町内側の道路の青信号の設定秒数の割当てが少ないということで、通行に時間がかかってしまいますので、やはりこれは町長がおっしゃるように国道246号線の4車線化が最も有効な渋滞対策かとは思いますが。

しかしながら、先ほど申しましたようにそれもすぐには進めそうもない話で、また現在、東名高速道路の大井松田御殿場間のリニューアル工事、こちらでも聞くところによると、この先まだまだ続きそうだというふうな話もちよっと伺っておりますので、そうしますと残念ながら国道246号線の交通渋滞の解消の目的という、一つの解消目的というふうなものもある新東名高速道路、こちらの開通を待つほかないのかなというのが確かに現状かと思えます。

次に、3点目の清水橋信号機の交差点での交通渋滞対策の質問ですが、令和4年12月の定例議会でも一般質問させていただきましたが、国道246号上下線それぞれの交通渋滞の起点と思われるのは清水橋の交差点ということで、その辺につきましてお伺いします。

町長はその際の答弁の中で、国交省に連結許可をいただく際に、国道246号線に接続する県道76号線のところが狭いとの指摘を受け、いずれはその部分を拡幅しなければならないが、国道246号線自体が今2車線で運用していることで渋滞の発生するので、4車線化を国のほうに強く要望していかなければならないし、一方、県道76号線が清水三保地区の生活道路としての機能を考えると、山北方面への迂回路を考えていかなければならないとのことで、検討の一案に県道川西線を迂回路とするお考えを示されましたが、道路法上の位置づけで県道川西線はどのような道路でございましょうか。

議 長

都市整備課長。

都 市 整 備 課 長

道路法で言いますと、県道というのは2種類分かれてございまして、主要地方道、先ほどお話ちらっと出ましたけど、小田原山北線県道74号と山北藤野線の76号、俗に二桁の番号が主要地方道という位置づけになっております。

それとあと、東山北停車場線ですとか、ほかの721号とか725号とあるんですけど、三桁のやつは一般県道というような取扱いで2種類の位置づけといえますか格付になってございます。川西線に関しては、もちろん一般県道になっております。

議 長

大野徹也議員。

9 番 大 野

一般県道、ただ県道とはいえ、道路としての道幅は狭い地域の生活道路的な道路かと思えます。

迂回路とするには、やはり改良工事が必要になるかと思いますが、その場合、どのような改良が必要になるのかなということをお伺いします。

議 長

都市整備課長。

都 市 整 備 課 長

川西線の改良でございすけども、議員さん御承知のように川の反対がかなり切り立ってたりとか、工事もやっても2車線で考えますとかなり難航で厳しいのかなと思えます。

今、道路構造令というのがあるんですけども、道路法の30条に道路構造令というのがございまして、そちらで最近では2車線では無理だな、1.5車線の道路みたいな形で、極力擦れ違いは何とか、待避所とか途中途中に設けてやれば何とかいけるのかなと。あれを全線、川西線を2車線全線やるというのは、以前に県西土木の課長なんかも話したことがあるんですが、それちよっ

と厳しいかというようなお返事もいただきましたので、考えられるとすれば局部的に箇所箇所でやらざるを得ないのかなというような感じは持っております。

議 長 大野徹也議員。

9 番 大 野 2車線化は道路の幅員が6.5メートル以上確保しなければならないというふうな道路法上の構造令ですか、そちらのほうの制限、制約があるということで、その2車線化で例えば山側を切土するとか、酒匂川の河積というんですか、川の流れを変えるような、その辺を変えるような護岸工事というのが、大規模な工事というふうな形になりますので、まして水防法の改正で洪水想定区域には指定はされたと聞いておりますから、護岸の対策目的で2車線化ということは大変厳しい難しいというふうに思います。

また、今おっしゃられた1.5車線の道路、こちらのほうの幅員は最低5メートルということで済むそうですが、その場合、先ほど御回答にもありましたが、擦れ違いのための待避所や見通しの確保が必要になってくるということです。その場合に鞠子橋から嵐方面に進むとすぐのところが見通しが非常に悪いんですね。そこを拡幅するというふうなことになりますと、川底からの高さも大分ありますので、そこをどうするのかというふうな非常に難しい問題がそこにも出てくるというふうなことになろうかと思えます。

ただ、どちらにしましてもこれは県に対する地区要望というふうな形で進めるということは承知はしておりますけども、どちらにしましても新鞠子橋の国道246号線と合流する信号機で、またそこで渋滞が発生するということが懸念されますので、なかなか根本的な解決には至らないのかなというふうに考えます。

次の質問ですが、清水橋交差点を構成する国道246号線と県道76号線ですが、これはやはり道路法上どのような位置づけとなっておりますでしょうか。

議 長 都市整備課長。

都 市 整 備 課 長 すみません。位置づけというと、交差点の部分がということですか。ちょっと質問の意図が、もう一回お願いします。

議 長 大野徹也議員。

9 番 大 野 すみません。位置づけというのは、道路法上どのような名前といいますか、

例えば246号線は一般国道というふうな区分けかと思うんですが、その辺のことをちょっとお伺いしたいと思います。

議 長 都市整備課長。

都 市 整 備 課 長 今、議員さんおっしゃられますように国道246号につきましては一般国道です。清水橋から三保方面、ダムの方へ行く路線は、この辺も同じ名称なんですけども、県道76号です、俗に言う山北藤野線で、こちらは先ほど申し上げましたように主要地方道という扱いになってございます。

議 長 大野徹也議員。

9 番 大 野 国道246号線が一般国道という中で、さらに区分けしますと国土交通省が道路管理をしている直轄道路というふうなことになるかと思えます。

また、県道は当然、神奈川県が道路管理者となっている主要道路、その中でも普通道路というふうな区分になるかと思えますが、その場合に道路整備事業に係る国の負担や補助等県の支出で、その際には町の持ち出しはないというふうな中での改築工事が執行できるのではないかなというふうに考えますがその辺はいかがでしょうか。

議 長 都市整備課長。

都 市 整 備 課 長 基本的に交差点が国道と県道の交差点になりますので、町道が一切絡んでございませぬので、町の負担というのは基本的にはないと思っておりますけど。

議 長 大野徹也議員。

9 番 大 野 町の負担がないということでございますので、その辺は何とか国と県のほうにこの要望を通していただくということが、せめて国道246号線の渋滞の解消の一助にはなるのではないかなと思えますので、まして新東名高速道路が開通した暁には、当然そこは渋滞するんだということは前からお話も出ていくことでございますので、何とかその辺は町としてはその辺の願いをして改修してもらおうということでございますので、その辺を計画に載せていただくまでのハードルというのは、4車線化とも重なりますが非常にハードルが高いというふうには承知しておりますけども。松田署の署員の方に信号機システムのこと聞き取りをした際に、その方が私見ですがという前置きがありましたけども、新東名高速道路ができると車の流れが変わってくるので、

そのタイミングで清水橋の信号制御の見直しが必要になってくるということをおっしゃってました。ということですので、必要性は十分あるということなんですが、ただ時期が開通後というふうなことで捉えられておりました。

ですから、今現在の信号の制御システムでは、今後も山北方面からも小山方面からもどちらも交通量がオーバーすると渋滞が発生することになります。中川方面からも青信号の時間の割り振りが短いということですので、ここでもやっぱり渋滞が発生するというのが、今現在でもそういう状況になっているということです。

町長が国土交通省に強く要望をされているということで、先ほどのお話でその辺の御努力は承知しましたが、やはり246号線の4車線化の要望が早期にそれで実現するかというような部分でいくと、なかなか難しいのかなということでございますので、せっかく開設したスマートインターから山北方面の輸送用大型トラックや観光バスなどの246号線への交通に支障を来すことが予想されるということですので、信号制御の見直しと併せて、清水橋交差点の国道と県道の同時改築工事による交差点進入交通レーンの2レーン化というものによって交通渋滞の緩和対策を講じていただくために、今後、地区要望というふうな形で取りまとめながら今後も提案していきたいと思いますが、町長いかがでしょうか。

議 長 町長。

町 長 清水橋については、本当に連結許可をいただいたときにそういうふうに国交省から言われて、いずれ必要だろうというふうに思っております。その時期については、やはり4車線化と並行してやっていただかなければ、私はいけないだろうというふうに思ってます。

ただ、実際に新東名の工事が令和9年まで延びましたので、中日本さんと松田警察署のほうに少なくとも令和9年までそちらの都合で延びたんだから、何とか渋滞緩和は考えてほしいというふうに申し上げてあります。ですから中日本さんもそれについてはいろいろな検討をしていくと。

先ほどの特に今現在松田警察署の交通課長のほうで動いていただいているのは、樋口橋のところを今、実態調査等をしていただいているということで、分析するとやはり下り車線がひどいんです。時間帯によって、みんな平山のほ

うから来てしまう、あるいは山北の町内から来て246にみんなあそこで集まってしまうというふうなことで、上りに関しては確かに混みますけど、何とかいろんな方法があって、時間はかかるけど絶対的にずっと行ってしまうということはないんですけど、下りはもうあるときには松田のほうまでずっとつながってしまうというようなのが実態でございますんで、そういったような実態のところを今見ていただいておりますんで、それに対して信号機のできる部分とできない部分がありますんで、それについては今やっておりますんで、私のほうとしては、取りあえず樋口橋の一步通行を中日本さんに相互通行なんかで令和9年までできないかというようなことで投げかけてはおりますけども、できるかどうか分かりませんが、まあいろんな意味である時間帯、曜日によって大変なことになってるのは皆さんも生活に非常に困ってるというようなことは承知しておりますので、そういった意味では何とかまず私のほうとしては延びた期間については何らかの対策をしていく。そしてその後については、4車線化と清水橋の改良工事、これをセットで要望していきたいというふうに思っております。

議 長 大野徹也議員。

9 番 大 野 野 　　そういうことで、4車線化、清水橋近辺の改築工事ということに今後も御努力いただいて、早期にというふうな気持ちはございます。先ほど山北町1000のお話の中で、次は清水1000というふうな話もございましたんで、そういう意味も含めて、町長のほうも清水地区の開発というかそういった部分で、第6次総合計画、それから第3次の土地利用計画、そこの部分に反映されてくるのかなとは期待しておりますけども、そういう部分でなるべく期待を寄せておりますので、その辺を何とかうまくつくっていただけないかなというふうに思います。

4年後の開通時期に合わせるためにも今から進めないと、観光立町を標榜する本町が今後の活性化を左右する観光事業ですとか、交通環境の改善による物流面の優位性、せつかく12メートルまでのトラックが通れるというふうな形になってるかと思っておりますので、その辺の優位性うたった企業誘致、それから東京方面への交通の利便性の向上ということで、テレワーク等も含めた定住移住促進の事業を、場合によっては遅くなればなるほど後退しかねない

とことになろうかと思しますので、その辺を踏まえながら、さらに先ほど出ましたがスマートインターチェンジ周辺の土地利用とか県道76号線の山北藤野線のミッシングリンク状態ということでしょうか。広域幹線道路整備、この整備に当たっては、防災というふうな部分でいきますと、例えば富士山噴火などの災害時の利用というふうなものを視野に入れながら、そういった懸案事項の進展のためにも、まだ4年あるということではなく、もう4年しかないという思いでぜひとも清水橋の交通渋滞対策を早期に講じていただきたいと思いますが、最後に町長のほうからその辺の御決意をよろしくお願いいたします。

議
町

長
長

町長。

おっしゃるように、スマートインターは令和9年まで延びてしまいましたけど、少なくとも開通すれば清水地区は町の玄関口になるということは間違いございませんので、そのためにはやはりしっかりした総合計画、土地利用計画がしっかりしてないと、補助金等いろいろなものがそのときに計画しても、のってないからということになればなかなか難しいところがございます。そういった意味では、まずそこはしっかり押さえていきたいと。それから、やはり今、山北町富士山噴火も含めて行き止まりになってしまっできないというような地区が非常に多いわけですから、それをどうしても災害時は代替ルートがなければいけないということで、これも今、相模原さんのほうと交渉を少し始めましたけども、どういうふうになるか分かりませんが、いずれにしても清水地区、そしてスマートインターを起点にして、いろいろな計画をこれからしっかりやって、そして住んでる皆さんが安心して住み続けられるように、また、移住者とかそういうものがあその地区に来ていただけるように、町としても一番の重要課題だというふうに捉えておりますので、これからぜひ清水の皆さんと一緒に地区の活性化に向けてやっていきたいというふうに思いますのでよろしくお願いいたします。

議

長

大野徹也議員。

9 番 大

野

ありがとうございます。町長のほうでそのような形で、山北の新たな玄関口という言葉が本当に全てかと思ます。

山北町のこれからの発展というふうな意味合いで、ぜひとも今後ともいろ

いろな重要諸施策があろうかと思えますけども、その辺を一つずつ潰すとい
うふうなことで、今後とも御努力をよろしく願いしまして、私の一般質問
を終わります。